

令和5年度第3回岐阜県高齢者安心計画作成・推進会議 議事要旨

令和6年2月16日(金)

14:00~15:30

水産会館 大会議室

健康福祉部次長	14:00~ ・あいさつ
	(1) 第9期岐阜県高齢者安心計画について
高齢福祉課長	14:03~15:30 ・資料説明
会長	・資料1-4の60ページに追記された「介護現場の生産性向上のためのワンストップ型の支援を実施する相談センター」について、どこに設置して、どんな事業を行うのか詳細を教えてください。技術的な相談だけでなく、現場の課題や工夫を含めて考えないといけない。
高齢福祉課長	・ここには「介護ロボット・ICT機器導入等」と記載してあるが、デジタル的なものだけでなく、OJTの仕組構築、職場環境整備、手順書作成など介護現場の生産性向上に資する取組について、取り扱う。 ・プロポーザルで委託して行う予定の事業なので、設置場所については未定である。
会長	・相談はもちろん、研修会の開催や社会保険労務士等有識者の派遣、介護ロボット導入に当たっての貸し出しや機器の展示を予定している。 ・いろいろな立場の人が参画して一緒にできるとよい。
構成員	・認知症基本法については、ご本人またはご家族が注目しているところである。国の基本計画が決まってからというものもあるが、県としての方向性があれば教えてください。
高齢福祉課長	・認知症施策推進大綱の基本的な考え方では、「共生」と「予防」の両輪だったものが、認知症基本法では「共生社会」の実現が目的に位置づけられている。国の基本計画は、秋ぐらいに策定されると聞いている。 ・県では、認知症希望大使の任命を進めるとともに、チームオレンジを全市町村で取組んでいただけるよう、進めていく。
構成員	・生産性向上は、介護業界では違和感のある言葉である。留意点をまとめたうえでやっていかなければならない。 ・人材確保ができないので、ロボットやICT機器を導入という流れだが、そんなに簡単には減らせない。損保ジャパンの実験で、人員配置が3:1のところを4:1にしてもできると言っていたが、とんでもない。 ・介護人材の確保については、県から明確に発信してもらいたい。現状として、外国人材は不可欠である。3分の1が外国人材の施設もあり、今後は外

<p>高齢福祉課長</p>	<p>国人材がリーダーになることもあるので、日本語教育だけでなく、介護一般のスキルを上げていく必要があるが、各事業所は悩んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老施協、老健協で県から委託を受けて、外国人材のマッチングを行っているが、質の確保も必要である。1事業所ではできないことを県がリーダーシップをとって、やってほしい。 ・介護サービスにおける生産性向上は、業務の改善や効率化を進めることにより生み出した時間をケアに充て、質の向上につなげていくものであり、この基本的な考え方に基づいて進めていく。また、相談センターの設置と合わせて、介護現場革新会議の設置を予定している。 ・介護人材の需給は19ページでお示ししたとおり今後も乖離が大きくなり、埋めていく必要がある。皆さんのお知恵もお借りしながら、対応を検討していく。
<p>会長 高齢福祉課長 会長 高齢福祉課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護現場革新会議は、これから設置されるのか。 ・そのとおりである。国では、センターとセットであると想定されている。 ・外国人介護人材は、何名くらいいるのか。 ・令和5年7月時点で、少なくとも1903人である。前年と比べて、450人増えている。
<p>構成員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護人材についてデータを追記いただいたので、具体的に進めていってほしい。 ・グループホームは、空床が減ってきた。 ・小規模事業者ばかりなので、経営的限界もあり、人材はぎりぎりで行っている。誰かが休んだり、辞めたりすると困る。 ・4月からの介護報酬の改定は、グループホームは1日1単位しか上がらず、様々な加算はあるが、処理するには人手が必要。 ・日本人を新規に雇うのは無理である。 ・ICTの補助金は、記録業務から請求業務までを一気通貫で行うことが可能なシステムを対象としているが、現場で一番時間がかかるのは記録と分析である。利用者が少ないグループホームでは、請求の手間はそんなにかからず、5年ごとに何百万円もかけて導入するのは、現実的ではない。
<p>構成員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス付き高齢者向け住宅（以下、サ高住）では、夜勤では、50人の利用者に対し、1人の職員配置であり、給料が高いという話をちらほら聞くが、災害時にその人員配置で守れるのか問題に感じている。
<p>高齢福祉課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サ高住は住宅課の所管であり、当課では把握していないので、お伝えしておく。
<p>構成員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サ高住は、基本的には元気な高齢者が前提なので、そういった人員配置になっている。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実態としては、重度の要介護の方でもサ高住にはいらっしやると聞いているが、本来の姿ではない。
<p>構成員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設入居者生活介護の指定を受けていないサ高住では、訪問介護、デイサービスが併設されていて、サ高住の増加とともに、利用が増えている。

構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・サ高住は元気なうちは安価だが、要介護がついて外付けのサービスを受けると高くなるので、特養に移ってくることになる。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者安心計画作成・推進会議のメンバーに、訪問介護の代表者がいない。 ・訪問介護の介護報酬が下げられた。サ高住のように効率よくやっているところが基準になっているのかと思うが、住み慣れた家で暮らし続けるために、訪問介護は必要なサービスであるが、どう考えるか。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・瑞穂市も、できる限り在宅でと進めているところ。 ・話は違うが、民生委員の確保に非常に苦勞している。現在も2, 3名欠員があり、各自治会にお願いしている。民生委員の制度はだいぶ前に作られてから、変わっておらず、今の時代に合っていないので、抜本的に見直す必要があると感じている。地域の社会福祉協議会で見守りもという話が出ているが、やっていただける方がなかなかいない。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員ではなく、直接的な介護が必要なので、訪問介護員の人材確保が必要である。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・富加町内には訪問介護事業所がなく、関市や美濃加茂市から来てもらっているが、断られることもある。来年から町内に1つ事業所ができる。 ・第9期計画では、施設整備が非常に少ないと感じる。第8期で計画していたが、マイナスの計画変更となった施設もあったが、県としては、施設は足りていると考えているか。
高齢福祉課長	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護の介護報酬は減少しているが、処遇改善は非常に高い率になっている。国の審議会の資料では、訪問介護の特定事業所加算で、中山間地域など移動が非効率なところについては加算が検討されており、総合的に見ていく必要がある。 ・施設整備は、第8期計画と比べて、第9期計画では少なくなっている。介護保険は市町村が保険者であり、サービス水準や保険料水準は保険者の判断になるので、県として一律こうするべきであると言う立場ではない。ここに記載してあるのは、市町村の積み上げである。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料は高くなってきている。施設ができれば、介護保険料は上がるので、保険者としては積極的に施設を作る時代ではない。県で考えていただけるとありがたい。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・89 ページを見ると、訪問介護の利用は今後も増えているという推計になっている。現場のケアマネや訪問介護事業所の感覚としては、この先心配である。訪問介護員の平均年齢は60歳と言われており、新しい人材は入ってこない。廃業する事業所も出てきていると聞いているので、県も実態を把握するべきではないか。 ・独居高齢者や高齢者世帯がどんどん増えており、支援が必要である。
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・2040年、2050年がどういう状況かを考えたら、団塊の世代は元気でいないといけないことを認識すべきである。

構成員

・介護人材が大切だということだが、外国から留学生からも入ってきているが、日本人が入ってこない。皆様にはお近くの方に声を掛けてもらって、介護の仕事の素晴さを伝えてもらい、学校に入学する方を増やしてほしい。

・日本の相対的な優位性が失われている中でも、来てくれている留学生には支援をしたい。岐阜県では、県も社協も前向きであるが、今後もお願いしたい。

構成員

・災害時支援や交通安全対策の記載があるが、非常に大事な視点である。災害時に避難所で体を動かさないことによる２次災害や体の動きに起因する交通事故の発生もあると聞いている。そういった分野の質や効果を高めるために、専門的な知識を持ったリハビリ専門職の関わりを促してはどうか。

会長

・いろいろご意見いただいたことについて、計画に入れられるかを県の方で検討いただく。